

各 位

2026年5月13日  
株式会社エディオン**エディオン、太陽光パネルの「販売から再資源化」までの一貫体制を確立**

～ 最新の「PV リサイクル工場」を新設し「2030年大量廃棄問題」へ対応 ～

当社は、持続可能な循環型社会の実現と、第2の柱として推進するエコ・リビングソーラー（ELS）事業のさらなる成長、および社会的責任の完遂に向け、太陽光パネルの『販売・施工』から使用後の『回収』、そして『再資源化』までを自社グループ内で完結させる独自の一貫体制を確立し、資源循環の新たなモデルを展開してまいります。

その拠点として、先進的な設備を導入した「PV リサイクル工場（マテリアル2号棟）」を、エディオングループの株式会社イー・アール・ジャパン（本社：広島県福山市、代表取締役：乗常 久志、以下「ER ジャパン」）が本社工場敷地内に新設し、本日5月13日より稼働を開始いたしました。

**【本事業の背景】太陽光パネル「2030年大量廃棄問題」への対応**

2012年の固定価格買取制度（FIT）導入以降に普及した太陽光パネルは、製品寿命を迎える2030年代半ば以降、年間約50万トンに及ぶ大量廃棄が発生すると予測されています。現状は、高度なリサイクル施設の不足から、廃棄パネルの多くが埋立処分に頼らざるを得ず、深刻な環境負荷が懸念されています。

こうした社会的課題に対し、当社は、2008年（旧サンキューは2007年）の太陽光発電システム販売事業の開始以来、長年にわたり普及に携わってきた責任を果たすとともに、販売・物流・リサイクルの自社ネットワークを最大限に活かし、社会全体の受け皿となるべく、独自の循環型エコシステムによる再資源化モデルを構築します。

## 【埋立ゼロ（100%リサイクル）への挑戦】

従来の技術では困難とされていた課題を解決する、先進的な設備を導入しています。

### 1. 『PV リサイクルハンマー』による処理

従来の「刃物（ブレード）」で剥離する方式では、災害等で破損・変形したパネルの処理が困難でした。当社の最新ラインは、物理的な衝撃で分離する「ハンマー方式」を採用。パネルの形状や状態に依存せず、廃パネルを粉砕・剥離します。

### 2. 『デジタル色彩選別機』による「高純度ガラス」の抽出

粉砕後に混ざり合った素材から、光学センサーがガラスの色調を判別し、不純物を自動除去。これまで困難だった「高純度なガラス資源」の回収を高いレベルで実現しました。パネル総重量の約6割を占めるガラス部材を、最新技術によって不純物の混入を抑えた高純度な『ガラスカレット』として回収し、提携先を通じて建材用ガラスウール（断熱材）や土木用資材などの製品へと再生することで、持続可能な資源循環を形にします。

## 【エディオングループが実現する「一貫体制」】

本工場の稼働により、太陽光パネルの「販売・施工」から、役目を終えた製品の「回収」、そしてER ジャパンでの「高度なリサイクル」までを一貫通貫で提供できる体制を整えます。当社が販売・施工した製品に限らず、廃棄相談の窓口として広く機能させることで、お客様の「どこに相談すればよいかわからない」という課題を解決します。これは国内の量販店および住宅関連企業においても先駆的な取り組みです（※1）。

当社の施工対応エリア（※2）を対象に、エディオン各店舗および物流拠点を窓口として、当社による交換・撤去工事に伴い発生した廃太陽光パネルを適正なフローに基づきER ジャパンが引き受けます（※3）。

※1 当社調べ（2026年4月時点）。家電量販店が自社グループ内に太陽光パネル専用リサイクル工場を保有し、販売から再資源化までを一貫して行う体制として。

※2 太陽光パネルの撤去工事は、当社の施工可能エリアに限ります。

※3 ER ジャパンによる引き受けは、北海道を除きます（2026年5月時点）。

## 【施設概要】

名称：株式会社イー・アール・ジャパン PV リサイクル工場（マテリアル2号棟）

所在地：広島県福山市箕沖町106番5（びんごエコ団地内）

稼働開始日：2026年5月13日（水）

主な設備：PV フレームセパレーター、PV リサイクルハンマー、色彩選別機、  
蛍光X線分析器等

当社グループはこれからも、お客様の豊かな暮らしに貢献し、持続可能な社会の実現に邁進してまいります。

報道関係者からのお問い合わせ先
-----------------

IR 広報部 電話番号 06-6202-6016
--------------------------